

としま 区議会 だより

平成24年
第1回
定例会

No.226

豊島区議会事務局 〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1 ☎03(3981)1453 <http://www.city.toshima.lg.jp/kugikai>

平成24年(2012年)5月11日発行

平成24年度 予算を可決

平成24年第1回定例会は、2月17日から3月26日までの39日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成24年度豊島区一般会計予算及び3特別会計予算について審議が行われたほか、区長提出議案31件を可決、議員提出議案は、6件を可決、4件を否決しました。

皆さんから提出された請願・陳情は、1件を採択、2件を不採択、21件を閉会中の継続審査としました。



予算特別委員会の様子

可決した意見書等 (要旨)

慢性疲労症候群患者の 支援を求める意見書

慢性疲労症候群は、生活が著しく損なわれるほど強い疲労が持続、ないし再発を繰り返す、通常の日常生活を送れなくなる病態である。

豊島区議会は、政府に対し、患者の実態を調査し、慢性疲労症候群の正しい知識を広めるよう努め、医療と社会保障の両面から、患者の命と暮らしを支える施策を早急に整えるよう、次の事項について要望する。

1 厚生労働省に、再度、慢性疲労症候群専門の研究班を発足させ、重症患者の実態を調査し、この病気の真の原因を研究すること。

2 慢性疲労症候群についての知識を、医療関係者や国民に周知させ、全国どこでも患者たちが診察を受けられる環境を整えること。

3 障害者手帳を持っていないくとも、医師の意見書などで日常生活や社会生活上の参加に制限が認められる患者には、障害者年金や介護、就労支援などがスムーズに受けられるようにすること。

4 障害者総合福祉法(仮称)の制定にあたり、だれもが人間らしく尊厳を持って生きる権利を守る立場から、制度の谷間に置かれた難病・慢性疾患患者の実態に即した福祉制度を確立するよう、当事者の意見を十分に酌み取ること。

(内閣総理・厚生労働大臣あて)

年金制度抜本改革の全体像を 早期に公表することを求める 意見書

政府は税と社会保障の一体改革に強い意欲を示しているが、肝心の年金制度の抜本改革については、全体像が明らかになっていない。

よって、豊島区議会は、政府に対して、年金制度抜本改革の全体像を明らかにするよう強く求める。

(内閣総理・財務・厚生労働大臣・内閣官房長官・国家戦略担当・社会保障・税一体改革担当大臣あて)

介護保険制度に関する意見書

豊島区議会は、国会及び政府に対し、老人福祉法の拡大などの施策によって介護保険制度の抱える課題を解決するなど、介護保険料の引き上げにつながるような施策を実現されるよう求める。

(衆・参議院議長、内閣総理・財務・厚生労働大臣あて)

第32回オリンピック競技大会 及び第16回パラリンピック競 技大会東京招致に関する決議

2020年オリンピックを東京で開催することは、我が国が東日本大震災から復興した姿と日本が安全であることを世界に示すことができ、我が国自身にとっても復興を成し遂げるための象徴的な目標となり、国際競争力のある都市の実現につながる。さらに、パラリンピック競技大会の開催は、障害者が暮らしやすい社会の実現、共生社会の実現を促進する。

国においては、スポーツに関

する施策の推進が更に求められる。また、東京においては、スポーツ祭東京2013に向けての取り組みが進んでいる。こうした機を捉えて国際大会を東京に招致することは、時宜にかなったものと言えよう。

よって、豊島区議会は、2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を強く求めるものである。以上、決議する。

選挙管理委員等を選挙

任期満了に伴う選挙管理委員及び同補充員の選挙を行い、次の方々が当選しました。

◆選挙管理委員

丸山 弘和

副島 健

堀口 謙

佐藤 勉

◆選挙管理委員補充員

遠竹 よしこ

小倉 秀雄

広田 貞治

嶋田 祐曠

米国の核実験に抗議

米国が昨年7月から11月の間に行った新型の核性能実験に対し、豊島区議会は、1月20日、米大統領あてに抗議の要請書を送付しました。

主な掲載内容

議案等の審議結果一覧	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A/ 予算特別委員会	7・8面